

やちびより

題字 吉田蒼月

Vol.44

平成30年(2018年)
5月発行

ご 案 内

患者支援センター

安心して治療・療養していただくために、
「患者支援センター」が
サポートします。

患者さんを支える3つの機能
地域連携
入退院療養支援
医療福祉相談

結果報告

平成29年度
外来・入院患者満足度調査

公開講座・教室のご案内

糖尿病教室
育児サークル「やちびよ」

インフォメーション

理事長交代のお知らせ
放射線治療装置の導入について
病院機能評価の認定を更新

安心して治療・療養していただくために、
「患者支援センター」がサポートします。

入院受付
Admission Desk
Recepção de Internação

7 患者支援センター
Patient Support Center
Centro de apoio ao paciente

昨年12月に新たに誕生した「患者支援センター」。外来通院中の方から入院・在宅療養される方まで患者さんと接する機会は多く、病院の要となる部門です。今回はその概要についてご案内します。

患者支援センターって、 どんなところ？

病気やけがで通院・入院すると、身体的な問題だけでなく、さまざまな不安や心配事が生じることがあります。そこで、患者さんご家族が抱える多様な問題にきめ細かく対応し、より良い状態で治療に臨み、安心して療養していただけるよう環境を整える役割を担うのが、「患者支援センター」です。

患者さんを支える3つの機能

入退院
療養支援

地域連携

医療
福祉相談

迅速でスムーズな支援を実現するため、患者さんの支援・相談に関わる機能をセンターに集約しました。

外来診療から入院、 在宅療養までを 一貫してサポート

発症後、患者さんは外来診療・入院・手術・退院というように段階を経て、健康と日常生活を取り戻していきます。場合によっては障害を抱え、生活の再構築が必要となることもあります。患者支援センターは、その時々に必要な情報を適切に提供し、必要に応じて院内の専門職や地域の関係機関と連携しながら、患者さんそれぞれが目指すゴールへと導いていきます。

地域連携



かかりつけ医

病院

検査・受診・入院患者さんの受け入れ

転院の受け入れ

入退院療養支援



外来診療

入院
決定

入院支援
(オリエンテーション)

心配事は
ありませんか？

▶ 情報共有

退院支援・調整

退院後の生活にスムーズに移行できるよう、専門職らがサポート。

医療福祉相談

機能① 入退院療養支援

入院や手術は患者さん、ご家族にとって不安が大きな出来事でしょう。患者支援センターでは、入院が決まった患者さんに対して事前にオリエンテーションを行い、不安や疑問の解消に努めるとともに、入院・手術に向けて心身の準備ができるようお手伝いします。

また、患者さんの病状やオリエンテーションでの聴き取り情報などをもとに、退院後に起こりうる問題を予測。退院に向けて準備や調整が必要な場合は、病棟や治療チームと情報を共有し、入院初期から退院後の生活を見すえた支援を始めていきます。

入院初期から、
退院後の生活を見すえた
支援を始めます。

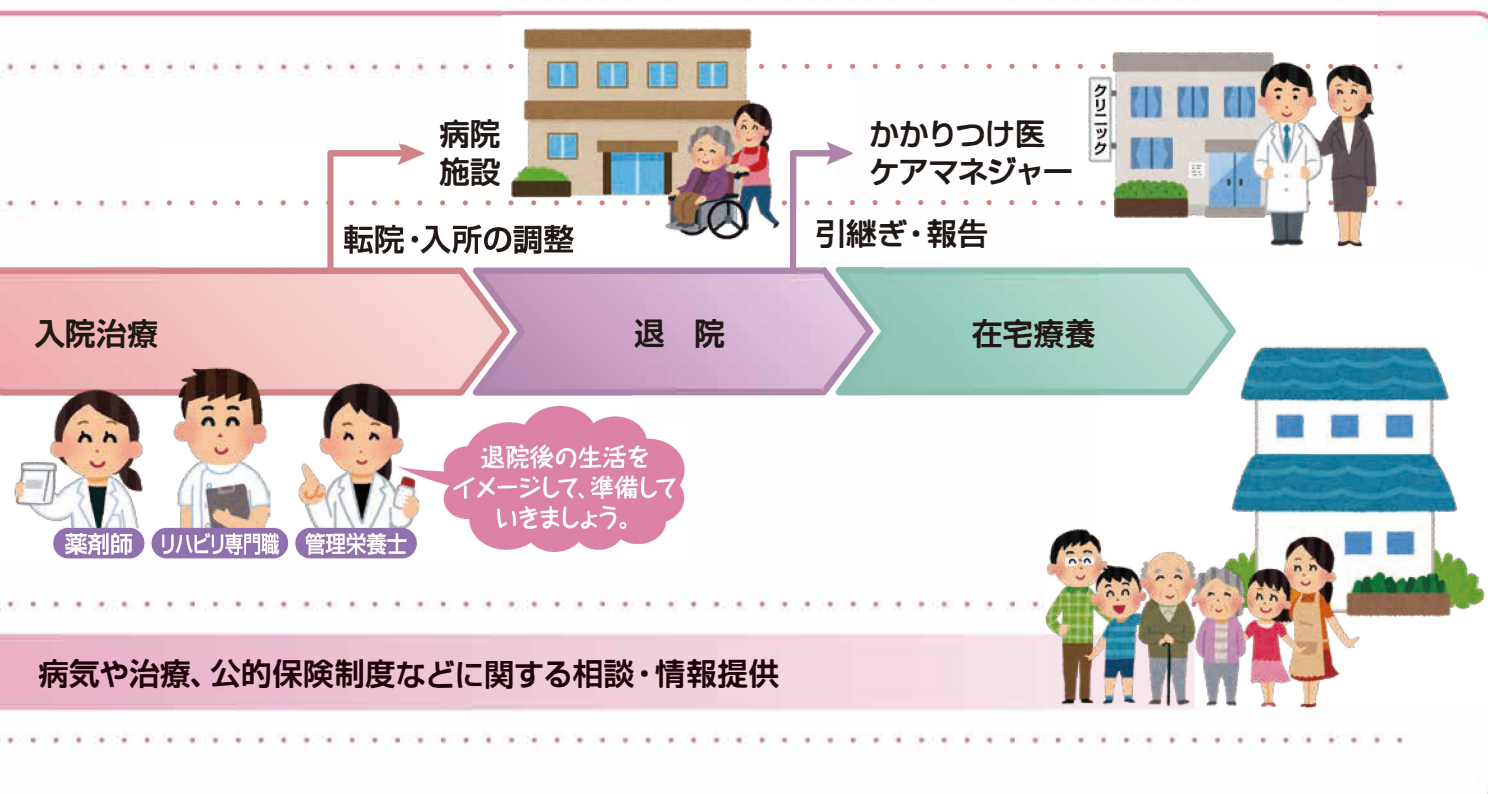


入院支援(オリエンテーション)

- 入院の説明と手続き
- 患者さんの基本情報の把握
(病歴、服用薬、アレルギー、生活状況など)
- 検査や手術の説明、術前指導
- 入院や退院後の生活についての心配事・意向などの聴き取り

退院支援

- 看護師や介護福祉士、リハビリ専門職によるご家族への看護／介護指導
- 薬剤師による服薬指導
- 管理栄養士による栄養指導
- 介護保険など公的保険制度の案内
- 在宅医療、介護福祉サービスなどの調整



機能② 地域連携

かかりつけ医からの紹介患者さんの受け入れや、他院からの転院受け入れ、また退院後も継続して医療や介護が必要な方への医療機関・介護施設の紹介など、当院と地域の医療介護をつなぐのも、センターの重要な役割です。

診療所、病院、介護福祉施設などはそれぞれが異なる機能を持ち、互いに連携しながら患者さんに切れ目のないサービスを提供しています。センターでは、患者さんの状態に応じて、必要な医療や介護を、最適な場所で受けていただけるよう各機関との連絡・調整を行っています。

「患者さんをお待たせしない」をモットーに、スピーディでスムーズな対応を心がけています。

地域と連携し、
支援を途切れることなく
つなぎます。



機能③ 医療福祉相談

センターの患者相談窓口では、医療ソーシャルワーカーをはじめ看護師、専任の事務職員らが、患者さんやご家族からの相談を常時お受けしています。外来・入院に関わらず、治療や療養生活に関することで心配なこと、お困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

主な相談内容

- 病気やけがに対する不安
- どこに相談したらよいか分からないこと
- 医療費や生活費などの経済的な問題
- 各種公的保険制度の利用について
- 退院後の療養生活や仕事に関する問題
- 医療安全について

患者さんにご家族に
寄り添い、問題を解決できる
ようにお手伝いします。



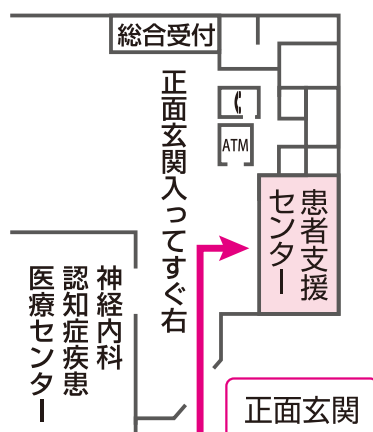
【患者相談窓口】

受付時間 月曜日～金曜日／8:30～17:00
第2・4・5土曜日／8:30～13:00

※相談は無料。秘密は厳守いたします。



患者支援センターの場所



スタッフ体制

- 医師
- 看護師
- 医療ソーシャルワーカー
- 事務職員

外来・入院満足度調査 結果報告

八千代病院は「クオリティホスピタル」を目標に掲げ、安全で質の高い医療の提供に努めるとともに、接遇や施設の改善を重ね、患者さんにより満足いただける療養環境の実現に取り組んでいます。その成果を把握し、さらなる改善に役立てるために、年1回実施している満足度調査の結果を取りまとめましたので、ご報告します。

【平成29年度外来・入院満足度調査 概要】

■対 象：外来患者さん、入院患者さん

■調査票配布・回収数

■調査期間：外来／平成29年9月4日(月)～6日(水)

入院／平成29年9月4日(月)～17日(日)

■調査方法：無記名式によるアンケート

	配布数	回収数	回収率
外来	1,702	1,176	69.1%
入院	347	241	69.5%



【外来満足度調査 結果】

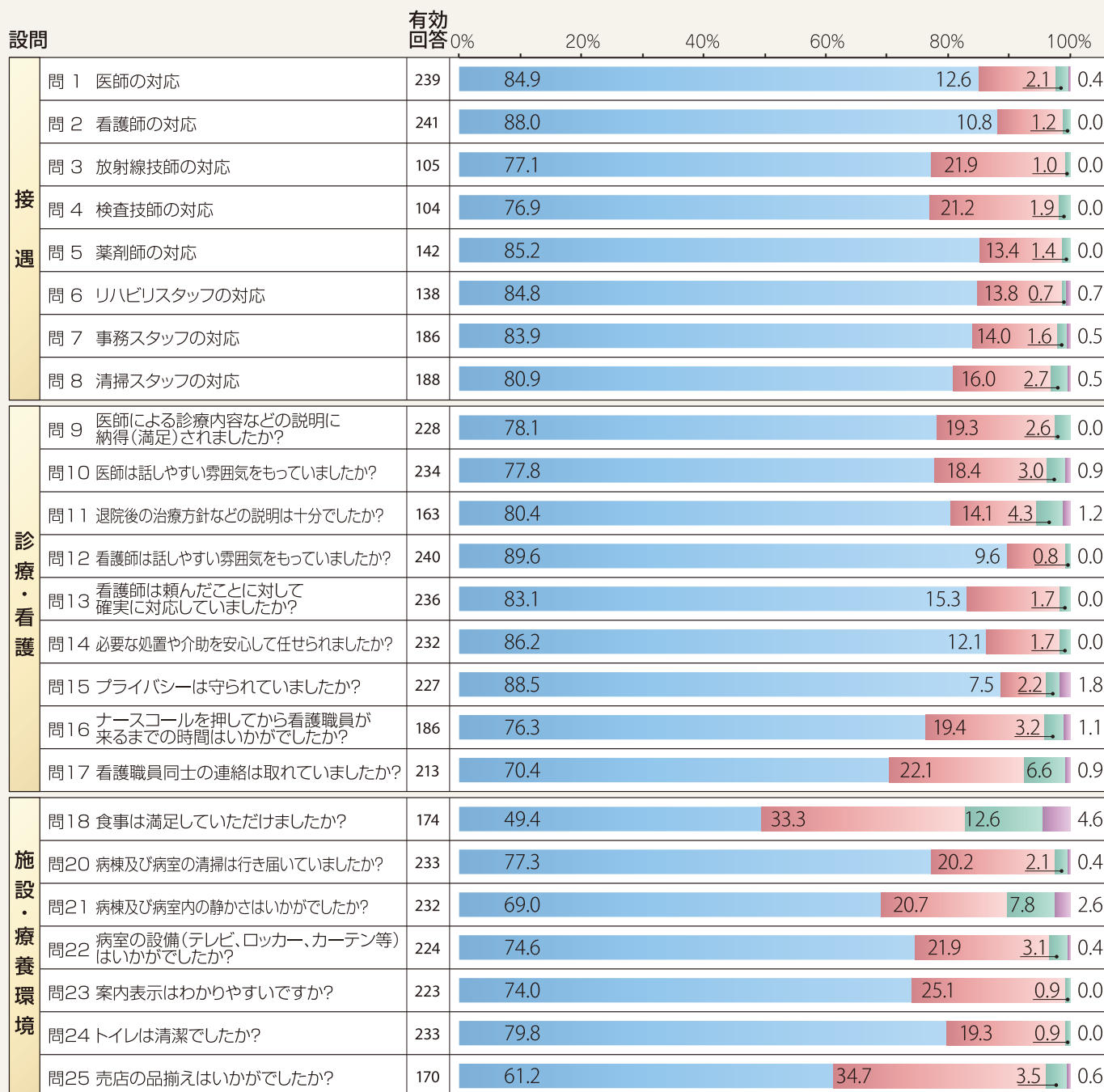
〈凡例〉 良かった やや良かった やや悪かった 悪かった

設問	有効回答	0%	20%	40%	60%	80%	100%
接 遇	問 1 医師のあいさつ・言葉遣いや態度	1,155	77.2	20.1	1.9	0.8	
	問 2 看護師のあいさつ・言葉遣いや態度	1,150	79.1	20.1	0.4	0.3	
	問 3 放射線技師のあいさつ・言葉遣いや態度	623	75.4	23.0	1.3	0.3	
	問 4 検査技師のあいさつ・言葉遣いや態度	723	76.2	22.3	1.0	0.6	
	問 5 薬剤師のあいさつ・言葉遣いや態度	905	74.5	23.8	1.3	0.4	
	問 6 受付・事務職員のあいさつ・言葉遣いや態度	1,122	81.0	17.3	1.2	0.5	
診 療・ 看 護	問 7 医師の説明のわかりやすさ	1,141	70.5	24.8	3.8	1.0	
	問 8 看護師の説明のわかりやすさ	1,043	74.6	23.5	1.4	0.5	
	問 9 看護師の処置	875	75.1	22.7	1.5	0.7	
	問 10 採血は安心して受けられた	774	75.2	19.9	3.6	1.3	
	問 11 レントゲンは安心して受けられた	625	80.5	18.4	0.8	0.3	
	問 12 リハビリは安心して受けられた	336	80.7	17.0	2.1	0.3	
施 設	問 13 駐車場や駐輪場の使いやすさ	982	45.7	39.2	11.7	3.4	
	問 14 病院内の温度などの快適さ	1,134	63.1	30.7	5.3	1.0	
	問 15 トイレの清潔さ	1,113	70.5	27.5	1.3	0.6	
	問 16 院内の清潔さ	1,139	76.2	22.7	1.0	0.2	
	問 17 受付や会計手続きのわかりやすさ	1,147	63.3	31.7	4.6	0.3	
	問 18 案内表示のわかりやすさ	1,110	59.0	36.4	4.1	0.5	
	問 19 売店の品揃え	782	44.9	47.7	6.4	1.0	
待 ち 時 間	問 20 診察の待ち時間	1,137	23.0	42.2	23.6	11.2	
	問 21 お薬の待ち時間	967	25.7	50.7	19.3	4.2	

※構成比は、「該当しない」「無回答」を除く有効回答をもとに算出。小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

【入院満足度調査 結果】

〈凡例〉 良かった やや良かった やや悪かった 悪かった

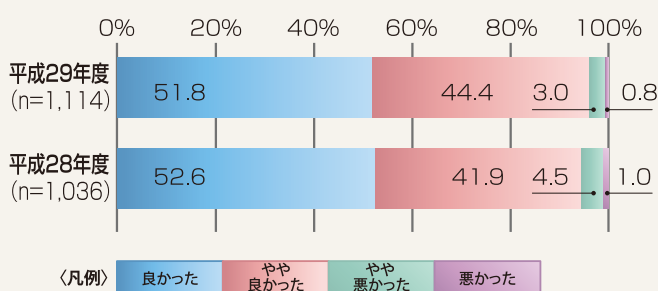


※問 19、問 26は自由意見記入欄のため割愛。

総合評価

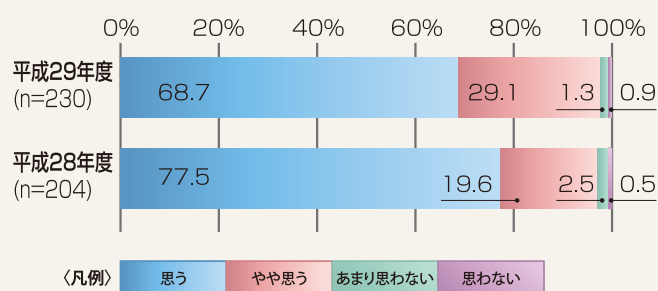
■外来満足度 総合評価

設問「全体として利用しやすく、満足できた」



■入院満足度 総合評価

設問「家族や友人に当院を紹介したいと思いますか?」



PICK UP!

改善事例

みなさまの声がカタチになりました。

当院では、外来・入院満足度調査の他にも、院内に設置した投書箱「みなさまの声」に投書いただいたご意見を関連部門で共有し、業務や施設の改善に取り組んでいます。

「みなさまの声」がきっかけとなり改善した事例の一部をご紹介します。

患者さんの声



私は身長が低いのですが、外来においてある血圧計の椅子が低くて使いづらいです。

事例改善

高さ固定の椅子から、使用される方の身長に応じて高さが調節できる椅子に取り替えました。



▲変更後の椅子

血圧を正しく測定するために



- 軽く背筋を伸ばして椅子に座る。
- 腕帯の位置が心臓と同じくらいの高さになるように、椅子の高さを調節する。

かがんだり、力んでしまうと測定値が変わってしまうので注意しましょう。

患者さんの声



ひとり暮らしのため、入院に必要な物品の準備や入院中の洗濯に困りました…。

事例改善

緊急入院時やひとり暮らしの方など、いつでも、どんな方にも安心して入院生活を送っていただけるよう、「CSセット」を導入しました。

CSセットとは？

入院生活に必要な寝衣や日用品を、日額定額制のレンタルでご利用いただけるシステムです。

基本のCSプラン：日額400円（税抜）×契約日数



利用のメリット

- 入院中の荷物や洗濯物などを軽減できます。
- 日用品の購入や補充の手間がかからず、ひとり暮らしや共働きの方も安心です。
- 1日単位のレンタルのため、必要な時に必要な分だけ利用でき、ムダがありません。
- 衣類はクリーニングして毎日取り替えるので、衛生的。院外への感染防止にもつながります。

これからも患者さんの声に耳を傾け、よりよい医療、療養環境の実現に努めてまいります。

外来・入院満足度調査および
みなさまの声にご協力

いただいた皆様、ありがとうございました。



平成30年度 糖尿病教室



糖尿病の患者さんやご家族に向けて糖尿病教室を開催しています。糖尿病についての知識を深め、生活習慣や食事を改善して、ご自身やご家族でケアを行えるように楽しく学んでいただきます。また、同じ悩みをお持ちの患者さんやご家族との情報交換や交流もあります。皆さんの参加をお待ちしています。

●対象：糖尿病患者さん、ご家族

●会場：本館2階大会議室

●開催時間：13:30～15:00

●参加費無料

●お問い合わせ：内科外来まで Tel.0566-97-8111(代)

●申込不要

* 予定は諸事情により変更になることがあります。また、診察の都合で担当者が糖尿病専門医から糖尿病療養指導士になることがあります。あらかじめご了承ください。

開催日	テーマ	担当者
5月15日(火)	●基礎編!糖尿病とは?※ ●知っ得ツール「糖尿病連携手帳&患者会」	糖尿病専門医 糖尿病看護認定看護師
7月19日(木)	●基礎編!糖尿病とは? ●ストップ脱水症状、夏バテ予防伝授します!	糖尿病専門医 管理栄養士 糖尿病療養指導士
9月14日(金)	●基礎編!糖尿病とは? ●今日から始める簡単運動療法	糖尿病専門医 理学療法士
11月20日(火)	●基礎編!糖尿病とは? ●糖尿病にまつわる検査の話	糖尿病専門医 臨床検査技師
1月17日(木)	●基礎編!糖尿病とは? ●糖尿病のお薬とインスリン注射の話	糖尿病専門医 薬剤師
3月14日(木)	●基礎編!糖尿病とは? ●糖尿病と認知症の話	糖尿病専門医 認知症初期集中 支援チーム

※糖尿病の基礎知識が知りたいという意見が多かったため、今年度より基礎編として「糖尿病とは?」の講義を行います。基礎編の内容は一年を通して共通していますが、講師は変更となります。また、毎回管理栄養士による季節の食事ミニレクチャーが開催されます。

平成30年度「育児サークル やちぴよ」

親子の絆を深めながら、ママさん同士の交流も図れる育児サークルです。
人形劇をはじめキッドビクスやバランスボールなど親子で楽しめるメニューから、
栄養士による乳幼児の食にまつわる講義まで、バラエティに富んだ内容となっています。

- 対 象：3か月から3才ぐらいのまでの幼児とご家族
- 開 催 時 間：11:00～
- お問い合わせ：産婦人科外来まで Tel.0566-97-8111(代)
- 会 場：本館2階大会議室
- 参加費：1回100円
- 申込不要

開催日	内 容
4月16日(月)	英語で遊ぼう !! 講師：二村先生
5月21日(月)	キッドビクス※ 講師：塩澤先生
6月18日(月)	「高学歴」は、もう古い?! 現場から見たこれからの子育ての面白い話 講師：清水先生
7月9日(月)	子供と一緒にバランスボールで運動しよう! 講師：洪 愛香(こう あいか)先生(フィットネスインストラクター)
8月6日(月)	離乳食～幼児食の話 講師：黒亀栄養士
9月10日(月) 新館5階会議室B	ペアレンツコーチング 子育てのゴール、親の役割、子供とのコミュニケーションの方法を学ぶ 講師：洪 愛香(こう あいか)先生
10月15日(月)	スパークルキッズ 子供の「カラダ」と「ココロ」を鍛えて自分で考える力をつける 講師：すぎやま りえ先生
11月19日(月)	人形劇 講師：ドーナツ
12月10日(月)	子供と一緒にバランスボールで運動しよう! 講師：洪 愛香(こう あいか)先生(フィットネスインストラクター)
1月21日(月)	英語で遊ぼう!! & 親子で「笑いヨガ」 講師：二村先生 & 丸野助産師
2月18日(月)	子供と一緒にバランスボールで運動しよう! 講師：洪 愛香(こう あいか)先生(フィットネスインストラクター)
3月18日(月)	キッドビクス※ 講師：塩澤先生

※キッドビクスとは、子どものためのエアロビクス運動(Kid+Aerobics)です。
動きやすい服装&水分補給のためのお茶などをご持参ください。



理事長交代のお知らせ

当法人の松本隆利理事長が平成30年3月31日をもって理事長職を退任し、名誉院長に就任。4月1日より弥政晋輔院長が理事長を兼任することとなりました。新たな体制のもと、地域の皆様の期待に沿う医療・介護を提供できるよう、職員一同努めてまいります。当院の活動につきまして、今後とも皆様の変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



名誉院長 松本 隆利



理事長・院長 弥政 晋輔

理事長退任にあたって 地域と共に歩んだ21年、次世代につなぐ地域医療のバトン

八千代病院 名誉院長 松本隆利

1997年に病院長を拝命、2006年に理事長を拝命してからこれまでの21年間、地域の皆様、医師会や地域医療機関の先生方、行政の皆様に支えられての年月でした。

思い返せば、私が病院長に就任した当時の八千代病院は、建物や設備の老朽化・狭隘化が深刻であり、より高度で質の高い医療を提供していくには、施設・設備の更新は待ったなしの状態でした。当面は改装や修復などで凌いでいましたが、患者さんが増え、救急の需要も増えてくる中で2000年を前にして、「地域医療を担う病院として役割を果たすにはどうすべきか」、職員はもとより地域の皆様にもその問いを投げかけました。

院内外で議論を重ね2000年に「PLAN21—八千代病院新築工事基本構想」を策定。当院を安城市北部の基幹病院として位置づけ、課題であった老朽化・狭隘化を解消し地域のニーズに応えていくために、新築移転、ケアミックス病院への進化などを含む事業計画を立案しました。

新築移転にあたりとりわけ重視したのが、救急医療の充実です。救急センターを立ち上げるとともに画像診断機器を充実させ、需要が増している二次救急への対応力を増強しました。一方で高齢化に伴う疾病構造の変化に対応するために、腎臓内科・内分泌代謝内科・神経内科などの診療科を新たに開設。地域に不足していた回復期・慢性期病床およびリハビリ施設を整備し、医学管理の下で充実したリハビリを提供する体制を構築しました。

その後2014年の新館増築時には、地域包括ケア病棟を新設。在宅支援部門や健診センターも拡充し、病気の早期発見、急性期医療からリハビリ、療養、退院後の支援までを切れ目なく提供する体制を整えました。



こうして病院独自の機能を高めるのと同時に、当院は地域完結型医療の体制づくりにも積極的に取り組んできました。その根底にあるのが、「地域医療の最適化≡スーパーケアミックス」という考え方です。

地域には高度救命救急を担う安城更生病院があり、一次医療は診療所の先生方が担っています。その中で当院がどうあるべきかを考え、近隣の病院や診療所と連携を図りながら、地域に足りない機能を当院がカバーしていく「地域医療の最適化」を基本方針とすることにしました。

医療は地域のもので、地域で必要とされている医療が過不足なく提供されているかどうか大切です。もし穴があれば、患者さんは遠方の医療機関まで足を延ばさなくてはなりません。患者さんの目線で困らないように地域の医療体制を整えていくこと、それが「地域医療の最適化≡スーパーケアミックス」です。

2015年には、このスーパーケアミックスの取り組みが評価され、米シカゴで開催された国際病院連盟第39回コンgresにおいて、第1回国際病院連盟賞優秀賞を受賞しました。また当地域の医療・介護・行政および関連大学の良好な連携体制は、優れたモデルとして全国の自治体や関係者から注目を集めることとなりました。理事長在任中にこのような評価をいただいたことは、望外の喜びでした。

これは私の持論ですが、「病院は地域を構成する要素であり、地域の一部である」と考えています。病院は病院、地域は地域で独立しているのではなく共存している。だからこそ病院を地域の皆さんに育てていただきたいし、大切に使用していただきたいと思うのです。そして私たち医療介護従事者は、「自分だけが良ければ…」というのではなく、「他の医療機関や施設と一体となって地域を支えていく」という心構えが必要です。

繰り返しますが、多くの方々にご支援いただきここまでやってこられたことを実感し、今は感謝の気持ちで一杯です。私は経営の第一線からは退きますが、「地域と共に、地域のために」という当院のマインドは、次世代に引き継がれていきます。

今後とも八千代病院をよろしくお願いいたします。

*なお松本医師は名誉院長として、引き続き外来診察や在宅支援部門の運営に携わってまいります。

放射線治療装置の導入について ～高精度で体にやさしいがん治療を、この地域で～

日本人の2人に1人が一生のうちに一度はがんにかかる現代。高齢化の進展に伴い、当地域で今後増加が予測されるがん患者さんに対して、身近な場所で体への負担が少なく、合併症リスクも低い高度な治療を提供するため、当院に放射線治療装置を導入します。「放射線治療センター」の開設は今年9月を予定しており現在、治療装置の稼働に向けた準備を進めています。



▲救急センターの左手に誕生した「放射線治療センター」の治療棟



©Varian Medical Systems, Inc

導入される放射線治療装置『TrueBeam® STx』（米・Varian社製）は、治療の正確さ、治療時間の短さ、対応できる治療法の多彩さにおいて、現存する世界最高峰の高精度放射線治療装置のひとつです。

この地域で、患者さんが状態に応じた最適ながん治療を受けられるよう、高精度放射線治療装置を地域のために活用していきます。また、当院放射線治療センターで行う治療の詳細については、今後順次ご案内してまいります。

病院機能評価の認定を更新

2018年3月2日、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)の認定基準を満たしているとして認定を受けました。

当院は2008年に初めて病院機能評価の認定を受けて以来、5年ごとに更新認定を受けてきましたが、今回が3度目の認定となります。



病院機能評価とは？

公益財団法人日本医療機能評価機構が設定した評価基準に基づき、同機構が中立的、科学的、専門的な見地から医療機関の活動を訪問審査や書面審査を通じて総合的に評価するものです。評価項目は医療の安全と質に関する項目から、病院組織全体の運営管理体制に関する項目まで90に及びます。

なお、病院機能評価の認定有効期限は5年間で、5年後には更新の審査を受審することになります。

当院に新たに着任した医師をご紹介します。



消化器内科 医長
森島 大雅 (もりしま ともまさ)
平成30年4月1日着任

4月1日より江南厚生病院より八千代病院の消化器内科へ赴任しました。消化器全般の診療に加えて、胆道、膵臓疾患に対する内視鏡検査、治療を専門としております。地域の皆様の健康に貢献できるよう診療を行っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所属学会:

日本内科学会 (認定医) 日本消化器病学会 (専門医)
日本消化器内視鏡学会 (専門医) 日本肝臓学会 (専門医)
日本胆道学会 日本膵臓学会
日本超音波医学会

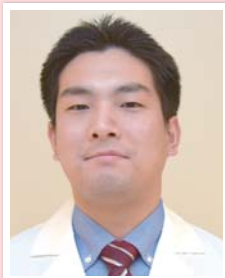


小児アレルギーセンター センター長
柘植 郁哉 (つげ いくや)
平成30年4月1日着任

4月に藤田保健衛生大学より異動してまいりました小児科の柘植郁哉と申します。八千代病院の小児科が得意としているアレルギーを中心に、小児科の診療を担当させていただき、お子様が健やかに成長していくお手伝いのできたらと考えていますので、よろしくお願いいたします。

所属学会:

日本小児科学会 (専門医)
日本アレルギー学会 (専門医)

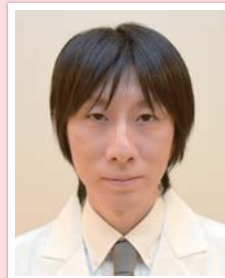


外科
桑原 聖実 (くわはら きよみつ)
平成30年4月1日着任

こんにちは。4月より八千代病院外科に赴任してきました桑原です。以前勤務していた名古屋掖済会病院は救急医療が盛んで緊急手術も数多く経験させてもらいました。これまでの知識、経験を生かし、皆様の力になれるよう診療にあたりたいと思います。よろしくお願いいたします。

所属学会:

日本外科学会 日本消化器外科学会
日本臨床外科学会 日本腹部救急医学会



小児科 医長
山脇 一夫 (やまわき かずお)
平成30年4月1日着任

皆さん、初めまして。坂文種報徳會病院から赴任しました山脇一夫です。4月からこちらの小児科に配属になりました。私は以前の病院では小児のコモンディジーズ(発症頻度の高い疾患)と、アレルギーセンターでは食物アレルギーや喘息、アトピー性皮膚炎などアレルギー疾患を中心に診療してまいりました。自分の経験、得意分野を生かして、貢献していきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

所属学会:

日本小児科学会 (専門医・認定指導医)
日本アレルギー学会 (専門医)
日本小児アレルギー学会



リハビリテーション科
田中 雄也 (たなか ゆうや)
平成30年4月1日着任

初めまして。整形外科医としてリハビリテーション科に赴任することになりました。大学卒業後、いくつかの関東の病院で働きながら整形外科医としての知識を学んできました。整形外科専門医を取得後は主に「肩」を専門とし、日々学んでおります。今までの経験と知識を生かして頑張らせていただきます。よろしくお願いいたします。

所属学会:

日本整形外科学会 日本肩関節学会
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

病院理念／ **最善の医療を提供する**

基本方針／ **1) 患者本位の医療**
2) 地域中心の医療
3) 安全先進の医療

目 標／ **私たちは、クオリティホスピタルを目指します。**
※クオリティホスピタルとは、志の高い病院・質の高い病院・満足度の高い病院です。

モットー／ **親切 親和 信念**